

令和3年版環境白書（資料編）

2章 安全で安心できる生活環境の保全

1. 水環境等の保全と対策

(7) 土壌汚染対策の推進

③ 休廃止鉱山鉱害対策の実施（周辺水質調査）

表1 鉱害防止工事

鉱山名	鉱山の概要		鉱害防止工事の概要				備考 (工事担当課)
	沿革	鉱種	実施年度	事業費 (3 / 4 国庫) 千円	工事内容	目的	
笹ヶ谷鉱山	鎌倉時代に開坑 昭和46年廃止	銅亜 ひ酸	48～58	1,782,484 (1,309,446)	鉱さい等堆積物等の封鎖、堰堤の改修	有害重金属の流溶出防止等	砂防課、 耕地第一課
宝満山鉱山	江戸時代末期開坑 昭和30年休止	銅	50～56	1,226,131 (919,595)	鉱さい積物場の封鎖、専用排水路整備、底質土除去	〃	森林保全課
清久鉱山	明治末期開坑 昭和42年休止	モリブ デン	57～60	184,060 (138,044)	谷土工、排水路施設、堆積場整備等	堆積場崩壊等によるスライム流出防止	砂防課

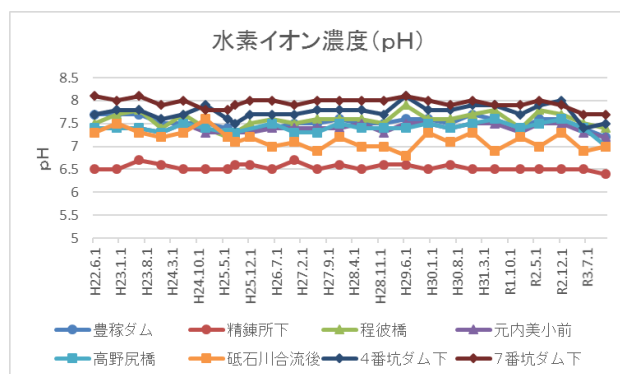
表2 鉱害防止施設修繕工事等

概 要	事 業 費
笹ヶ谷鉱山地区において、鉱害防止工事で設置した排水路等の施設に損傷が発生したため、昭和63年度に県の補助事業として津和野町が修繕工事を実施	総事業費2,507千円 3/4 県補助
平成6年10月に発生した笹ヶ谷鉱山本坑地区第一立坑付近の陥没については、平成7年度に通商産業省の休廃止鉱山鉱害防止等工事費補助金による工事として覆土工事に着手し、平成8年度末に完了	総事業費162,843千円 3/4 国補助 1/4 県負担
笹ヶ谷鉱山七番坑鉱滓堆積場において、平成11年10月頃に、排水路集水柵の破損により鉱滓封鎖個所の斜面が洗掘されたため、平成11年度末までに県の補助事業として津和野町が修繕工事を実施	総事業費3,990千円 3/4 県補助
笹ヶ谷鉱山7番坑のコンクリートかん止堤において、平成11、12年度の調査で強度不足及び安定性に問題があることが判明したため、平成13年度に経済産業省の休廃止鉱山鉱害防止等工事費補助金による工事としてかん止堤補強工事に着手し、平成15年度に完了	総事業費182,030千円 3/4 国補助 1/4 県負担

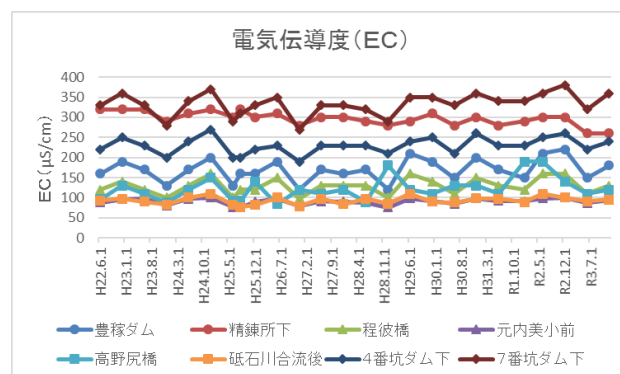
表3 笹ヶ谷鉱山周辺環境水質調査（測定値の経年推移）

(※) 定量下限値未満は下限値としてグラフ化

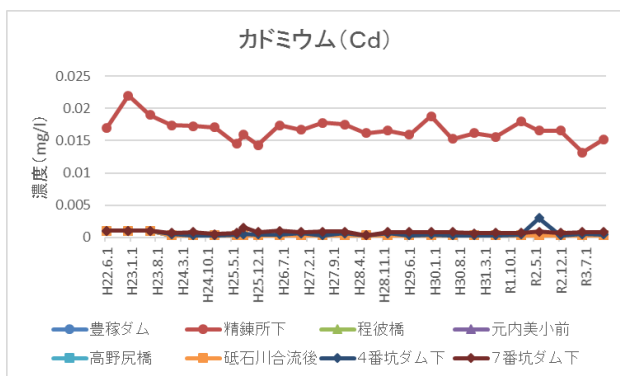
水素イオン濃度 (pH)



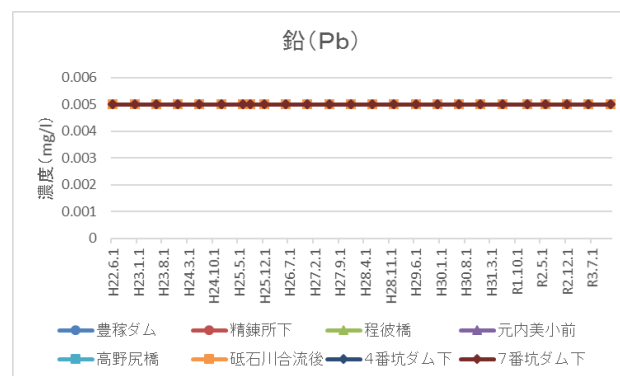
電気伝導度 (EC)



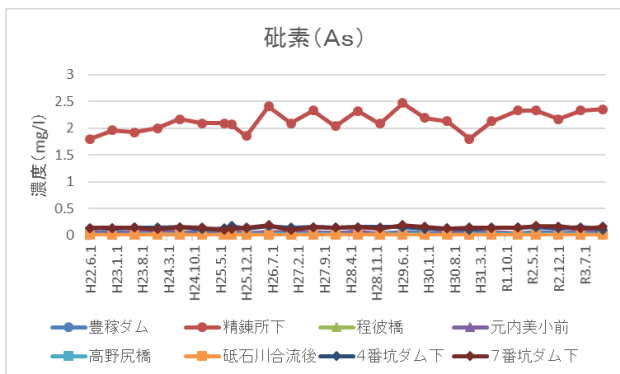
カドミウム (Cd)



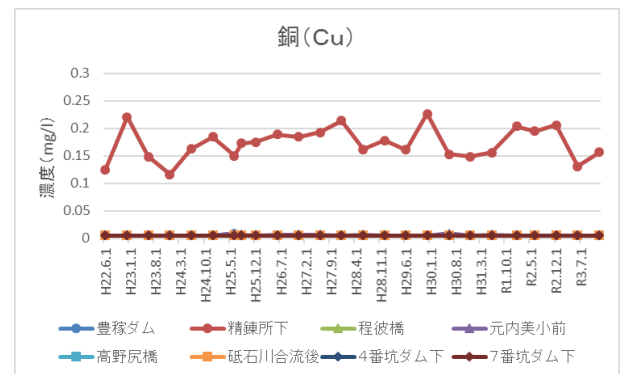
鉛 (Pb)



砒素 (As)



銅 (Cu)



亜鉛 (Zn)

